

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 29 年 1 月 19 日 (木) 15:30~16:30 懇談会

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続きご懇談ください。

1. 挨拶

— 須藤 健一 (館長) —

2. ニュースリリース

●みんぱくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 池谷 和信 (議長) —

3. 開館 40 周年記念事業について

[詳しくはこちら](#)

国立民族学博物館は、大阪万博(日本万国博覧会)跡地に、1977年11月17日に開館しました。2017年に開館から40周年を迎えることを記念して、記念式典や展示の開催、刊行物の発行など、さまざまな事業を実施いたします。

今回は、開館40周年記念事業の概要について、ご紹介します。



— 吉田 憲司 (副館長) —

4. 開館 40 周年記念特別展「ビーズ一つなく・かざる・みせる」

[詳しくはこちら](#)

飾り玉、数珠玉、トンボ玉などを総称するビーズ。本展示では、私たち人類が作り出した最高の傑作品の一つとしてビーズをとらえて、つくる楽しみ、飾る楽しみをとおして日本や世界の人びとにとってのビーズの魅力を紹介します。

会 期： 3月9日(木) ~6月6日(火)
会 場： 国立民族学博物館 特別展示館
観覧料： 一般 420円 (350円) 高校・大学生 250円 (200円)|
小・中学生 110円 (90円)

※ () は 20名以上の団体料金
リピーターは団体料金を適用
※本館展示もご覧いただけます。



首長用 足のせ台 (カメルーン)

— 池谷 和信 (議長) —

5. 国際シンポジウム

「エイジフレンドリー・コミュニティ—変わりゆく人生を包みこむまち」

詳しくはこちら

「エイジフレンドリー・コミュニティ」は、高齢化する社会で、すべての世代の人が心地よく安心して年を重ねられる（エイジング・イン・プレイス）生活環境を意味する語として注目されています。この国際シンポジウムでは、変化の中で限りある人生を歩む人々が求めるものに注目し、地域の特徴を生かした共生環境と人々のエイジング・イン・プレイスを考えます。

日時：2月25日（土）13:00~17:30
会場：国立民族学博物館 第4セミナー室
定員：80名（要事前申込）
参加費：無料
使用言語：日本語・英語（日英同時通訳あり）



— 鈴木 七美（研究戦略センター 教授） —

6. 企画展「津波を越えて生きる—大槌町の奮闘の記録」(展示場ツアー)

詳しくはこちら

多大な被害を出した東日本大震災は、多くの日本人の心に深い刻印を残しました。本企画展は、プロジェクトリーダーである本館教授・竹沢尚一郎が震災直後から支援してきた岩手県大槌町の復興の過程に着目し、大槌町の被災前の文化を紹介すると同時に、被災直後の人びとの行動や復旧の試みを展示の形でたどりませ。将来起こりうる大規模災害に対する備えの必要性を示し、災害を乗り越えて過去から未来へと文化や伝統をつなぐことの意義を考えます。

会期：1月19日（木）～4月11日（火）
会場：国立民族学博物館 企画展示場
観覧料：一般 420円（350円）
高校・大学生 250円（200円）
小・中学生 110円（90円）
※（ ）は20名以上の団体料金
リピーターは団体料金を適用
※本館展示もご覧いただけます



— 竹沢 尚一郎（民族文化研究部 教授） —

※その他の配布資料

外国人研究員新規受入一覧（資料6）、刊行物報告書（資料7）



国立民族学博物館

懇談会についてのお問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話：06-6878-8560（直通）FAX:06-6875-0401 Mail:koho@idc.minpaku.ac.jp